

各コースの取り組み

動物科学コース

私たち動物科学コースは、肉牛・養豚・養鶏の3つの専攻にわかれ活動しています。

養鶏専攻では、ハーブを与えることによる肉の味への影響について研究しました。使用したハーブはバジル、パクチー、ローズマリーなどです。

肉用牛専攻では、より良い肥育素牛の生産を求め、本年度は3頭の子牛の離乳期間を1ヶ月ずつずらし、離乳期間と増体の関係性を調べました。

養豚専攻は最も人数が多かったので酒粕班、ハーブ班、運動班、小豆・紅茶班の4班に分かれて取り組み、肉の酸化について化学的アプローチも行いました。



地域デザインコース

本年度は、「住宅庭園図の作製」「竹垣の作製」「坪庭の作成」「校内樹木地図の作成」「トータルステーションによる校庭の測量」「花壇の造成」「長岡野菜の良さを知ろう」など7グループに分かれて取り組みました。



校長室脇廊下の左右に本年度課題研究の作品(竹垣・坪庭)を見ることが出来ます。



青果生産コース

野菜専攻は、後半に長岡市とタイアップし、ダイコン栽培によるパイオマス資源肥料の効果の実証実験を行いました。

果樹専攻は、たび重なる獣害被害防止のため様々な対策を研究しています。冬場には、ブドウなどのさし木による次世代に向けた苗木生産を行っています。



栄養化学コース

発酵でまなぶ・つながる 栄養化学コース“ながおか発酵プロジェクト”では発酵をテーマに、おから味噌、越の旨実、ワイン醸造、日本酒醸造、ぬか漬け、酒粕の利用などさまざまな研究活動に取り組みました。新潟県学校農業クラブプロジェクト発表会では、『新発酵食品「越の旨実」～地域の特性を生かした新しい特産品の開発～』と題した研究発表を行い、最優秀賞。北信越大会では優秀賞をいただきました。ながおか発酵プロジェクトでは、これからも「発酵でまなぶ・つながる」を合い言葉に活動を続けます。



優勝 男子バスケットボール

3年2組 寺井 翔汰

私は3年2組の男子バスケットボールのキャプテンを務めました。私は初心者のため活躍することはできなかったのですが、クラスの仲間たちが頑張ってくれたおかげで優勝することができました。3年生最後の行事は最高のものになりました。3年2組最高です。ありがとうございました。



クラスマッチ

優勝 女子バレーボール

2年1組 星野 愛和

私たちのクラスは、コロナウイルスや雪の影響で1日しか練習ができませんでした。経験者を勢いひかせたおかげで、決勝まで進み、優勝することが出来たので良かったです。来年も今回の体験を生かせるような試合をして優勝できるようにがんばりたいです。



優勝 卓球

3年2組 佐藤 央弥

私は高校生活最後のクラスマッチで、ペアの相手やチームの仲間と協力して優勝することができて嬉しかったです。コロナ禍で、拍手のみの応援でしたが、盛り上がりを感じました。クラスマッチを運営して下さった先生方、生徒の皆さん、高校生活の良い思い出になりました。ありがとうございました。



優勝 混合バレーボール

3年3組 齋藤一步咲

僕たち3年3組は混合バレーで見事優勝することが出来てとても嬉しく思います。この結果は体育の時や昼休みなど日々練習を行った結果であり、楽しくやる！を忘れることなくできたのも良かったです。この先、楽しさや鍛錬は忘れてはいけないことだと思うので、どんな事でも一生懸命に頑張りたいと思います。



優勝 神経衰弱

2年3組 川上 裕大

試合開始前、チーム3人で作戦を立てて各々の役割を決めたので、ゲームを上手に進めることができました。神経衰弱を行うところが思ったよりも広くカードがまばらに置いてあるため、暗記し辛く、カードを捲る際に緊張してしまうこともありましたが、チームで相談しながら慎重に選ぶことが出来てよかったです。



1年間を振り返って

卒業生へ

3学年主任 寺尾 誠

3年間マスクのまま卒業となりました。今年度も学校行事は規模縮小での実施となりましたが、体育祭をはじめ、長農祭等もそれぞれ楽しめたのではないかと思います。これからは長農卒業生として様々なことにチャレンジしてください。



楽しいことを見つけよう!

1学年主任 中野 忠雄

4月に入学し、早いものでもうすぐ1年が終わろうとしています。2学期には、その後2年半を過ごすコースが決定しました。もしかすると、不本意なコースに決定してしまった人もいるかもしれませんが、大事なことはそのコースでどれだけ「楽しいこと」を見つけられるかということ。生徒の皆さんに期待しています。



心技体+生活

2学年主任 高橋 康一

2学年が今年度取り組んだ主なものは「夏休みの探求活動」と「修学旅行」です。探求活動では3年ぶりに企業インターンシップを行い、貴重な職場体験をさせていただきました。感染症対策のために2泊3日とした修学旅行は、短くも濃密な時間とすることができました。現在は進路実現のために動き始めたところです。



10/15 PTA後期研修

そば打ち

1年P 鈴木 瞳

生まれて初めてそば打ち体験をさせていただきました。講師の方がとても丁寧に教えてくださり自分も子どもに戻ったような気持ちで楽しむことができました。最後の試食も手打ちならではの食感・風味がありとてもおいしくいただけました。農業高校ならではのPTA研修であり、また次も参加したいと思いました。

和菓子

2年P 高橋奈々恵

保護者同士で会話をしながら、楽しく参加することが出来ました。上手に作れなくても、だからこそ、プロの方の凄さがわかり、また、生徒達は授業で行っているのだと思うと、尊敬するばかりです。農業高校では素晴らしい体験と学びが得られるのだと改めて実感しました。また、来年も参加したいです!

寄せ植え

3年P 木山 直子

3年目にして初めてPTAの研修会に参加させて頂きました。草花の寄せ植えと多肉植物の寄せ植えと2鉢も作りましたが、どちらもとてもステキで可愛い作品が出来て大満足です。休日の午後を楽しむ時間を過ごすことが出来てよかったです。



進路



■進路指導部より

今年の三年生は新型コロナウイルスの影響下で入学し、感染拡大前のような進路活動を十分に行えないまま、各12ヶ月間積み重ねてきた進路意識を保持しながら懸命に取り組んで自らの進路を決定しました。この経験を活かして、進路先においてもさらに活躍していかれることを信じています。さて、本年度の進路決定状況は表のとおりです。進学・就職の割合は、例年と比べて就職希望者数が激減(例年の約40%減)し、その分、専門学校への進学者数が増加しました。

進学においては、前年度に比べて「農業」を活かした進学者が増加しました。ただ、農業分野への希望者数は年ごとに波があり、本校での学びをさらに追究していくような進路意識の定着を期待したいところです。また、看護・医療系の進学者数もこの数年増加傾向にあります。それ以外の分野はほぼ例年通りの割合です。同じ専門学校に何人も集中する傾向も目立ち、今の時代を象徴しているのかも知れません。

就職については、現時点でも積極的に高校生を採用しようとする企業が増える一方、「基準に見合った者」だけを採用しようとする傾向が今年も見受けられました。本校の民間就職一次応募の内定率は約八五でしたが、その後も意欲的に活動を続け、現時点ですべての希望生徒が内定をいただきました。いずれの進路決定におきましても、生徒を公私にわたって支えていただいた皆様方のお陰と感謝しております。

二年生、一年生は進路活動もそれぞれ次の段階に進みます。土台となる日々の授業や学校生活を大切にし、自己の進路と真剣に向き合ってください。

3年生進路決定状況 (152名)

令和5年2月7日現在

進学	就職					その他未定者
	民間	公務員	専門学校	農業大学校	各種学校等	
4年生大学*	15	6	88	3	3	7
短期大学						1
専門学校						26
専門学校(看護)						3
専門学校(医療)						0

*国公立大学1名含む